

# 夢

No.131



## 保育士になって子どもたちの めんどろをみたい!

とや こはる  
外谷 来春さん 永田小学校 6年

わたしの将来の夢は、保育士さんになって子どもたちのめんどろをみることです。理由は二つあります。一つ目は、子どものめんどろをみるのが好きだからです。なぜかと言うと、いとこの子が来て一緒に遊んでいたらとっても楽しかったので、保育士さんになりたいと思いました。

二つ目は、一人の先生にアコがれているからです。わたしが通っていた永田保育園の先生のことです。その先生に教わったのは一年だけだったけど、とっても優しくかったです。なので子どもたちに優しい先生になって子どもたちをよろこばせたいです。

子どもたちに好かれるような人になるには優しいだけではだめだと思うので、人間的に魅力ある人になれるように、いろいろな本を読んだり、スポーツに打ちこんだり、たくさん勉強したりして、レベルをあげていきたいです。

10th  
中野市合併10周年



中野市役所広報  
facebook

### 編集後記

面積：112.18 km<sup>2</sup>  
人口：43,878人（-28）  
男：21,213人（-30）  
女：22,665人（+2）  
世帯数：15,690戸（+10）  
【平成28年2月1日現在】  
（ ）は前月比、平成22年  
国勢調査を基に推計

▼取材の際、久々に給食を食べさせていただきました。口の中に味が広がる、不思議なことに、子どもの頃大好きだった給食の思い出も一緒に浮かび上がりました。思い出を話せば皆が笑顔になる給食。皆さんも今回の特集を通して、懐かしい給食の話に花を咲かせていただければ幸いです。（芳澤）

▼「キラリ☆中野のチカラ」でお話を伺った豊田ふるさとファームの皆さん。「使命感ではなく、自分たちも楽しいから続けられる」という言葉が印象的でした。子どもたちの笑顔が見たいと活動されている皆さんは、とてもエネルギーッシュで輝いていました。（中沢）

▼3月、学校では卒業シーズンを迎えます。卒業式当日、ピカピカの学生服を着た6年生の背中が、急に大人びて見えたものでした。私も30代を目前にし、「言葉で多くを語らずとも、背中を語る」ような人に近づいたため、日々努力していきたいと思えます。（仲條）